



学校だより 5月

“桜川学びのエリア桜川学園：桜川中・桜川小”

令和4年4月28日
板橋区立桜川小学校
No.2

桜川小もあいさつでいっぱい为学校に！！

校長 中川 久亨（なかがわ ひさみち）

毎日、午前8時5分頃、桜川小の子どもたちが集団登校して正門を通ります。各班で2列になり、上級生が下級生を挟むようにしてきちんと並んで登校しています。

私は毎日、正門で子供たちを迎えています。「校長先生、おはようございます。」『大きな声』『笑顔』『私の顔を見て』あいさつする児童には、いつの間にか私も自然に負けじと大きな声であいさつしています。一日の活力が湧いてくるような気持ちになります。

子どもたちのあいさつを見てみると、その様子は様々です。自ら進んであいさつする子、目を合わせてあいさつする子、笑顔であいさつする子、目は合わせられないけれど大きな声であいさつする子、目は合わせるけれど小さな声であいさつする子……。あいさつの声の大きさやその仕方がいつもと違うときは、「何かあったのかな?」「体調悪いのかな?」と心配になります。

「桜川小の子どもたちは、みんなとても上手にあいさつする!」と地域の方々から、より一層言われる学校にしたいと考えています。自分ではあいさつはできていると思っている児童は、たくさんいるはずですが、しかし、相手に声が届かないあいさつは、あいさつができていないことと同じこと。そんなことも子どもたち自身に気付かせたい!!

相手を気持ちよくするあいさつを、桜川小のすべての子どもたちに体験してもらえよう、教職員一丸となって指導してまいります。ご家庭でも、是非話題にしていただけたらと思います。

さて、『心の **オ** **ア** **シ** **ス**』という言葉に耳にしたことがあるでしょうか? 「オアシス」とは、砂漠の中にある、水が湧いてきたり草木が生えていたりする場所のことです。厳しい砂漠を旅する人にとって、オアシスはほっとして安らぐ場所です。

あいさつをすると、心がほっとしたり、安らいだりします。ですから、この「オアシス」にちなんで、あいさつの言葉に『心のオアシス』があるのです。

オ	・・・「 お はようございます。」	あ	・・・「 あ かるく」
ア	・・・「 あ りがとうございます。」	い	・・・「 い つでも」
シ	・・・「 し つれいします。」	さ	・・・「 さ わやかに」
ス	・・・「 す みません。」	つ	・・・「 つ づけて」

このような言葉が、状況に応じて言葉に出せる子どもたちで桜川小をいっぱいになりたいと思います。桜川小の子どもたちが、今以上に、もっともっと上手なあいさつができるように励ましながら取り組んでまいります。